

報道関係者各位

ブライダル業界をめざす学生を対象とした「新規接客コンテスト」開催
ブライダル業界を牽引するゲストを迎えて

専門学校日本ホテルスクール（東京都中野区 石塚勉校長）は、ブライダル業界をめざす学生を対象とした「新規接客コンテスト」を10月26日（金）に開催しました。ブライダルコーディネーターに必要な「コミュニケーション力」と「プレゼンテーション力」を培う『新規接客コンテスト』。ブライダルコーディネーターとしての新規接客力を競うこのコンテストで審査の対象となるのは、表情・話し方・身嗜み・立ち振る舞いからなる好感度とお客様に安心を与え、信頼を得て良好な関係を作るに至るコミュニケーション力です。



コンテストの様子 新郎新婦へのヒアリングを実施

出場エントリーをした学生のうち、本選に進めるのは5名のみ。予選は11月12日（金）に行われ、在校生5名が本選に出場しました。本選までの約2週間、予選通過した学生たちは、特別指導担当の教員による個別レッスンを重ねてきました。レッスン時だけではなく、時には友人や校内の先生を相手にロールプレイングを繰り返し、毎回の練習のたびに成長が目に見えて高まってゆく姿が印象的でした。

会場には BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会事務局長佐々木貴夫様、株式会社丸三屋代表取締役社長湯浅泰敏様、ゼクシィ編集長などを遍歴されたリクルートブライダル総研の金井良子様をはじめとした業界を牽引する皆様を特別ゲスト審査員としてお迎えし、BIA 主催の「The Master of Bridal Coordinator Contest」と同形式での新規接客ロールプレイングが実施されました。



コンテストの様子 新郎新婦へのヒアリングを実施
表情・話し方・身だしなみ・立ち居振る舞いなどが審査の対象となります

マスターの称号をもつ教員が「緊張感が同じ」と語るほどに本格的な雰囲気が整う中で与えられる時間は一人あたり 10 分間。表情や仕草、言葉遣い、会話の引き出しに至るまでを「学生ではなく、ブライダルコーディネーターとしてどうか」という厳しい目で審査が進められていきます。優劣つけがたい接戦の中で初代優勝に輝いたのは、昼間部ブライダル科 1 年林田典子さん（神奈川県立藤沢西高校出身）。1 年生ながらの快挙です。「指導を受ける中で、話し方や振る舞いは意識してつくられていくものだ」と学び、少しずつ自分のものにして行けたことが大きな収穫でした。相手を想って言葉を選ぶことの大切さにも気づきました。一緒に練習に協力し、応援して力を貸してくれたブライダル科の友人たちにも本当に感謝しています。”一緒に高めあえる仲間がいる”と改めて感じる機会にもなったコンテストでした。」とコンテストを振り返っていました。

専門学校日本ホテルスクールは 1972 年開校以来、13,000 名以上の卒業生を輩出してきました。ホテル・ブライダル分野における人材育成において、ホテル単科の専門学校としては、日本で最大級、日本を代表する教育機関の一つとして、完全就職や希望の進路実現に向け、蓄積したノウハウを注いで学生を支援しています。本校は開校以来、「産学連携」を軸とし、ホテル・ブライダル企業を中心に企業と連携した実践教育を行っています。「新規接客コンテスト」は、3 名の「The Bridal Master of Coordinator」が在籍する本校だからこそ将来を見据えたいうでのリアリティなコンテスト内容の企画、実践力の礎となる指導を行うことができました。ホテル・ブライダル企業を中心に企業と連携した実践教育における学生の成長をうかがうに相応しいものとのして、産学連携のもとで行われた学校行事、第 1 回新規接客コンテストを終えることができました。



第1回新規接客コンテスト
予選を勝ち抜いた5名の学生
初代優勝に輝いた昼間部ブライダル科1年林田典子さん（中央）

以上

■この件に関するお問い合わせ
学校法人日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール
教育部 中村 塚本 広報部 永井 富永
TEL: 03-3362-5001 FAX: 03-3360-6177
URL: <https://www.jhs.ac.jp>

JHSPR21-10